



# 栃木県公共事業再評価 概要書

## 【県土整備部 道路事業】

事業名	快適で安全な道づくり事業
事業箇所	一般国道400号 大田原市 <small>すえひろ</small> 末広 ~ <small>ちゅうおう</small> 中央 新富町 L=800m
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 道路整備課

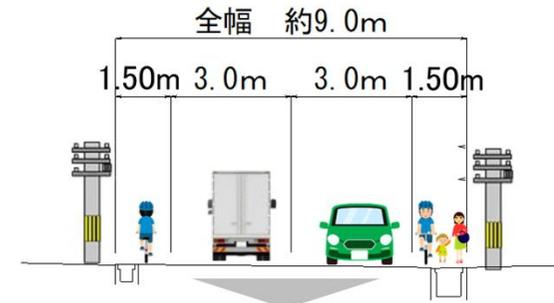


# 事業の概要

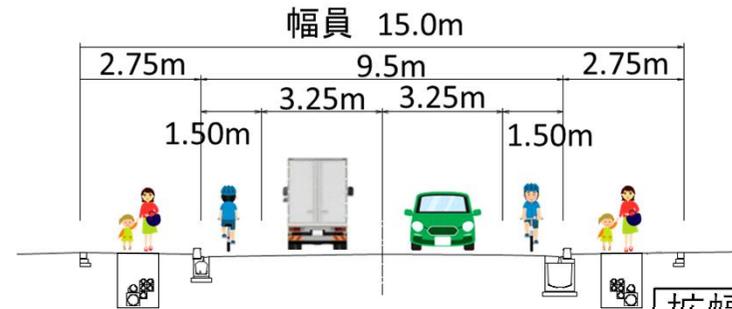
## 【事業内容】

事業延長	800m
標準幅員	15.0m ※横断構成は標準横断図のとおり
道路区分	第4種第1級
車線数	2車線
計画交通量	14,800台/日 (R22推計値)

## ■標準横断図 現況

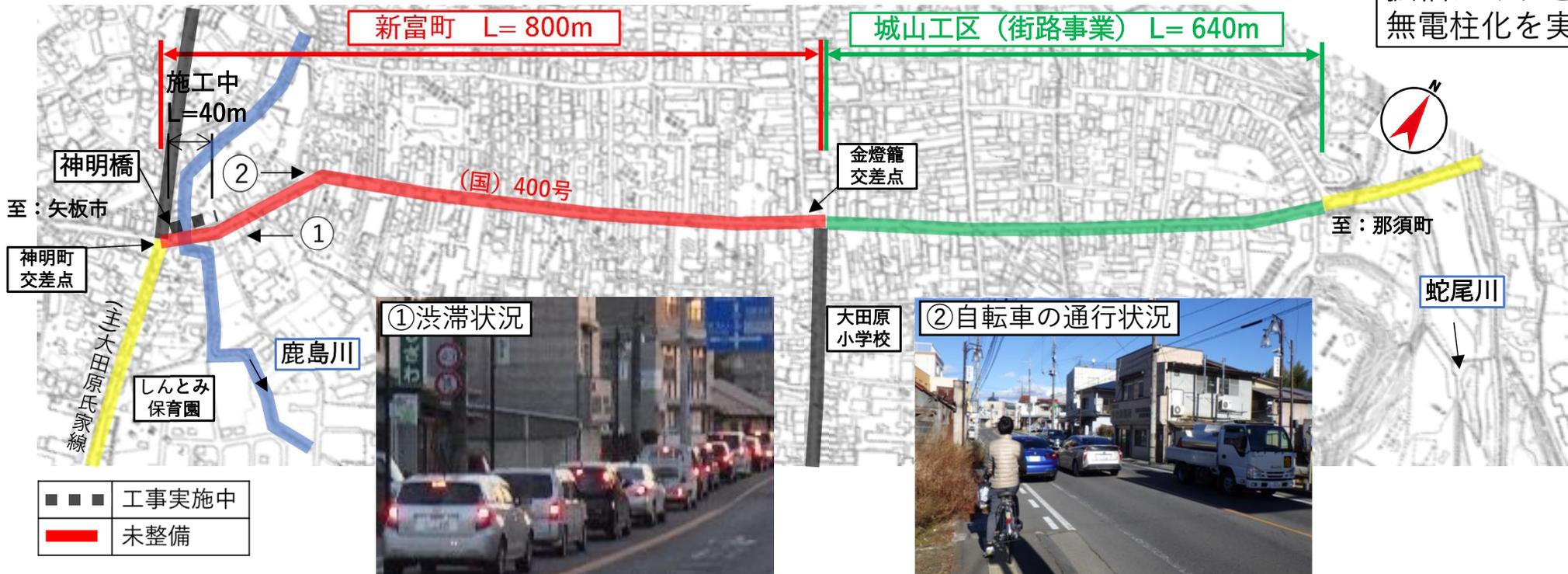


## 計画



拡幅にあわせて  
無電柱化を実施

## ■平面図



■ ■ ■	工事実施中
■	未整備

## II 事業の評価

### 【事業期間の見直し】

令和9年度 ⇒ 令和13年度（+4年）

### 【全体事業費の見直し】

		前回計画 (R1年度)	⇒	今回計画
	全体事業費	25.0億円	⇒	32.0億円（+7.0億円）
内	工事・測量設計費	10.0億円	⇒	14.5億円（+4.5億円）
訳	用地補償費	15.0億円	⇒	17.5億円（+2.5億円）

#### ■工事費

① 建設資材、労務単価の高騰等による工事費の増額 +4.5億円

#### ■用地補償費

② 用地調査の実施による補償費の精査 +2.5億円

## II 事業の評価

### 【事業の投資効果】

#### 1 費用対効果分析結果

	B/C	総便益(B)	総費用(C)
(1)事業全体	1.2	29億円	25億円
(2)残事業	1.7	29億円	17億円

注) B/Cの値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

#### 2 事業の整備効果等

- ・安全な通行空間の確保による交通事故の減少（過去10年間に約15件の事故が発生）
- ・広域的な交流・連携の促進と地域の産業支援
- ・無電柱化による魅力ある街並み形成と防災機能の強化

### 【コスト縮減等】

#### 1 コスト縮減方策

- ・電線共同溝の整備にあたり、浅層埋設方式などの低コスト手法を採用することで、コスト縮減を図る。
- ・再生材の利用や建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。

#### 2 代替案立案等の可能性

- ・必要な事業用地は、現時点で30%取得済みであり、工事の一部実施していることから、代替案立案は困難である。

### 【事業の対応方針（案）】

本計画で事業を継続する。